

令和5年度大分県学力定着状況調査結果の概要(杵築市)

1. 調査の概要

(1) 調査目的

県内小・中学校および義務教育学校の児童生徒の学力や学習・生活状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査期日 令和5年4月25日(火)

(3) 調査対象学年

小学校5年生 / 中学校2年生

(4) 調査事項

◆学習到達度調査

小学校5年生:国語・算数・理科

中学校2年生:国語・社会・数学・理科・英語

◆質問紙調査

2. 結果の概要(教科別偏差値平均)

対象	小学校5年生					
	国語		算数		理科	
区分	知識	活用	知識	活用	知識	活用
杵築市	52.2	52.7	53.2	52.3	52.5	52.7
市町村立学校	51.1	51.2	52.0	51.9	50.5	51.0

対象	中学校2年生									
	国語		社会		数学		理科		英語	
区分	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
杵築市	51.9	52.2	52.0	51.6	49.7	49.8	51.3	50.2	51.6	51.3
市町村立学校	51.8	51.5	51.2	50.0	51.0	50.4	51.1	49.7	50.4	50.4

〈小学校〉・平成25年以来(R2未実施)全ての教科で「知識」「活用」ともに偏差値50を上回っており、安定している。

・R5年度は全ての教科で「知識」「活用」ともに偏差値52を上回っており、全ての教科で「知識」「活用」ともに県を上回っている。

〈中学校〉・国語、社会、理科、英語の「知識」「活用」で偏差値50を上回っており、県を上回っている。

・数学の「知識」「活用」で、偏差値50を下回り、県を下回っている。

今後の取組

◆各学校における自校の実態を把握・分析し、課題解決に向けた授業改善や具体的方策の策定と取組の実施

(「各種学力調査を生かした児童生徒の確かな学力定着に向けて」の取組の実施)

◆「新大分スタンダード」を意識した単元構想による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

(全ての教科・教職員で実施、管理職による授業観察、指導主事要請訪問、杵築市教育研究協議会各部会での授業研究等)

◆杵築市学力向上アクションプランに基づく取組

・教務主任、研究主任を中心とした「学力向上プラン」に基づく授業改善の推進

・授業力向上アドバイザーを活用した指導支援による、経験年数の浅い教員の授業力向上に向けた取組の推進

・小学校中学校の英語教育の推進に向けた、小中連携のための市教研提案授業の実施

・令和5年度加配教員配置校等による公開授業の実施(小学校英語教育推進校、小学校教科担任制推進のための専科教員配置校)

・ICT活用指導力向上に向けた、研修会、公開(提案)授業の実施

・各中学校において「中学校学力向上対策3つの提言」の計画の確実な実施

◆県教育委員会と連携した取組

1. 「新大分スタンダード」に基づく授業の質の向上に係る支援

(授業力向上アドバイザーの配置、小学校教科担任制における専科教員の配置、大分県学力定着状況調査の実施、小学校英語指導力向上事業、各種協議会による授業力向上)

2. 「中学校学力対策『3つの提言』」の強化

(「3つの提言推進校」の指定、問題データベース配信、中学校英語指導力向上事業)